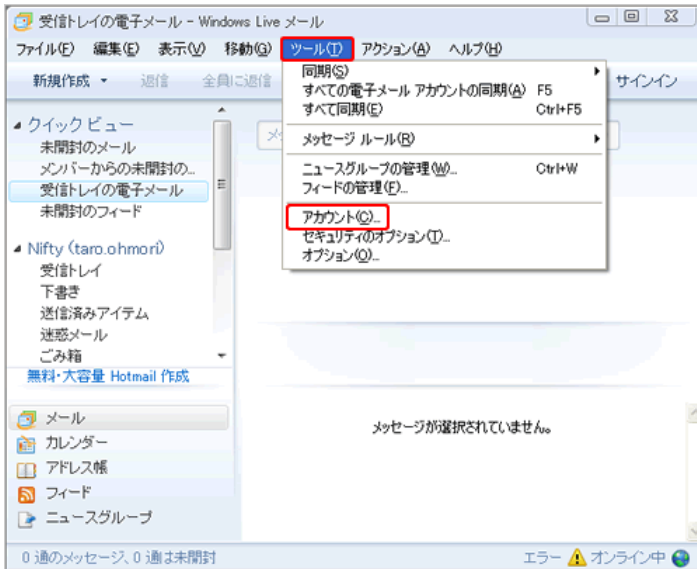


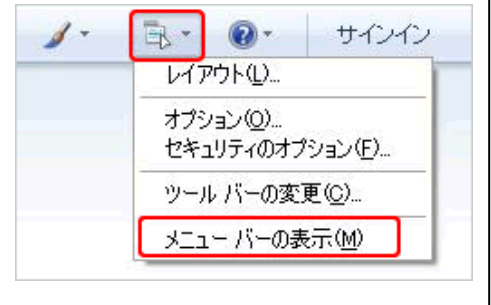
■Windows Live メール

1. Windows Live メールを起動します。

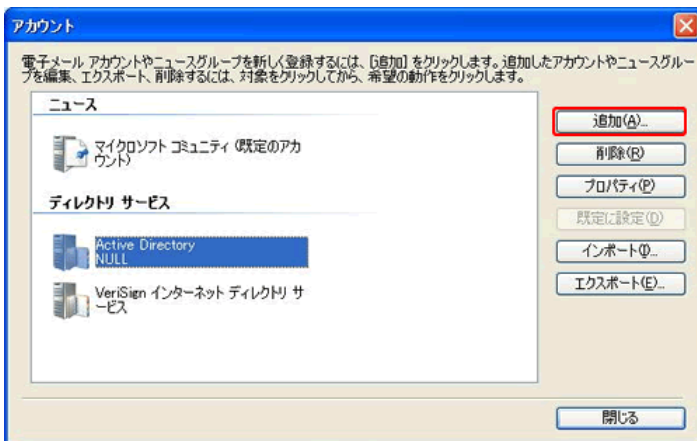
メール上部の [ツール (T)] メニューから [アカウント (A)] をクリックします。



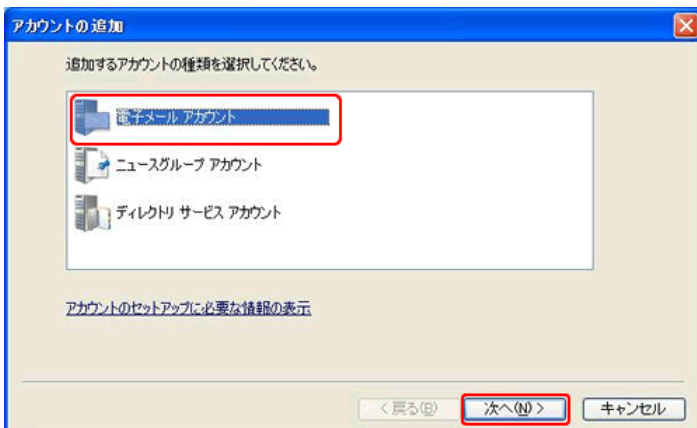
メニューバーが表示されていない場合は、以下の方法でメニューバーを表示します。



2. アカウントの画面が表示されますので [追加] をクリックします。



3. [アカウントの追加] の画面が表示されますので、[電子メールアカウント] を選択し、[次へ] をクリックします。



4. [電子メールアカウントを追加する] の画面が表示されますので、以下のように設定し、[次へ] をクリックします。

電子メール アカウントを追加する

電子メール アカウント情報を以下に入力してください。

電子メール アドレス(E): test@alato.ne.jp
例: example555@hotmail.com 無料・大容量 Hotmail作成

パスワード(P): *****
 パスワードを保存する(S)

このアカウントから送信されたメールに差出人として表示する名前を入力してください(E)

表示名(N): 電算 たろう
例: Taro Chofu

電子メール アカウントのサーバ設定を手動で構成する(C)

< 戻る(B) 次へ(F) > キャンセル

■ 電子メールアドレス

alato のメールアドレスを入力します。

■ パスワード

会員登録通知書のメールパスワードを入力します。

※ 複数のメールアドレスを取得されている場合、入力したメールアドレスと同じ行にある物を入力して下さい。

※ メールアカウント、メールパスワードは大文字・小文字を区別します。間違えないように入力して下さい。

■ パスワードを保存する

任意でチェックを入れます。

※ チェックをすると、接続のたびにパスワードを入力する必要がなくなります。1 台のパソコンを複数の人が利用する場合など、他の人にメールを見られたくない場合はチェックをせず、接続のたびに入力することをおすすめします。

■ 表示名

差出人の名前やニックネームを入力します。

ここで入力した表示名がメールの送信先にお客様の名前として表示されます。

■ 電子メールアカウントのサーバ設定を手動で構成する

チェックを入れます。

5. [電子メールサーバー] が表示されますので、以下のように設定し、[次へ] をクリックします。

電子メール アカウントを追加する

電子メールサーバーの情報について

受信サーバー情報

受信メールサーバーの種類(M) POP3

受信サーバー(Q): mb.alato.ne.jp ポート(P): 110

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(Q)

ログインに使用する認証(U): クリアテキスト認証

ログイン ID (電子メール アドレスと異なる場合)(L): c1234567

送信サーバー情報

送信サーバー(Q): mb.alato.ne.jp ポート(P): 587

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(Q)

送信サーバーは認証が必要(V)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 受信メールサーバーの種類 : POP3
- 受信サーバー : mb.alato.ne.jp
- ポート : 110 (規定値)
- このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 : チェックなし
- ログインに使用する認証 : クリアテキスト認証
- ログイン ID : 会員登録通知書のメールアドレスを入力します。

電子メールアドレスとは異なりますので、あらかじめメールアドレスの@より前の部分が入っていた場合は削除し、会員登録通知書のメールアドレス(小文字の c または p または g で始まる半角英数字の文字列)を入力します。

※ 複数のメールアドレスを取得されている場合、4 で入力したメールアドレスと同じ行にある物を入力して下さい。

送信サーバ情報

- 送信サーバー : mb.alato.ne.jp
- ポート : 587 (規定値 25 を消して入れなおしてください)
- このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 : チェックなし
- 送信サーバーは認証が必要 : チェックを入れます

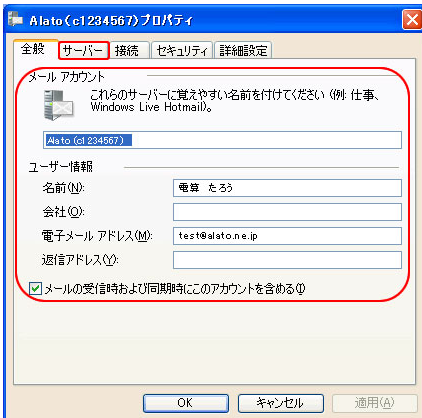
6. [新規アカウントの設定が完了しました] と表示されますので、[完了] をクリックします。

以上でメールの設定は完了です。

自分宛にメールを送信し、受信できるかどうか試してください。

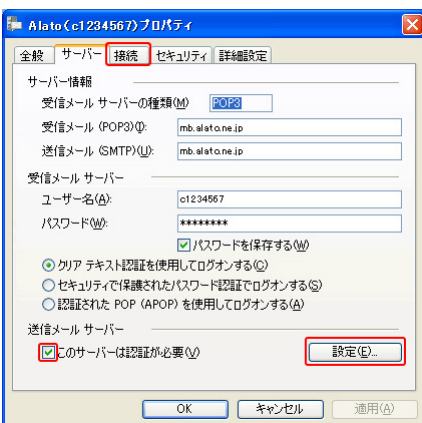
■ Windows Live メール設定方法補足（アカウント設定確認方法）

7. Windows Live メールを起動します。
8. メール上部の [ツール (T)] メニューから [アカウント (A)] をクリックします。
9. [アカウント] の画面が表示されます。
設定したアカウントを選択し、[プロパティ] をクリックします



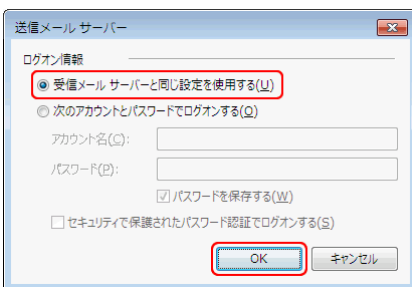
10. [プロパティ] が表示され、[全般] タブが表示されますので、以下の設定を確認し、[サーバー] タブに切り替えます。

- メールアカウント：任意の名前を入力します。
- 名前：差出人の名前やニックネームを入力します。
- 電子メールアドレス：alato のメールアドレスを入力します。



11. [サーバー] タブが表示されますので設定を確認し、画面右下の [設定] ボタンをクリックします。

- 受信メールサーバーの種類：POP3
- 受信メール（POP3）POP サーバー名：mb.alato.ne.jp
- 送信メール（SMTP）SMTP サーバー名：mb.alato.ne.jp
- ユーザー名：会員登録通知書のメールアカウント
- パスワード：会員登録通知書のメールパスワード（文字は * で表示されます。）
- パスワードを保存する：任意でチェックを入れます。
- クリアテキスト認証を使用してログオンする：チェックを入れます。
- このサーバは認証が必要：チェックを入れます。



12. 「送信メール サーバー」の画面が表示されますので、[受信メール サーバーと同じ設定を使用する] にチェックが入っていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

13. [プロパティ]の[詳細設定] タブに切り替え、
以下の設定を確認します。

サーバーのポート番号

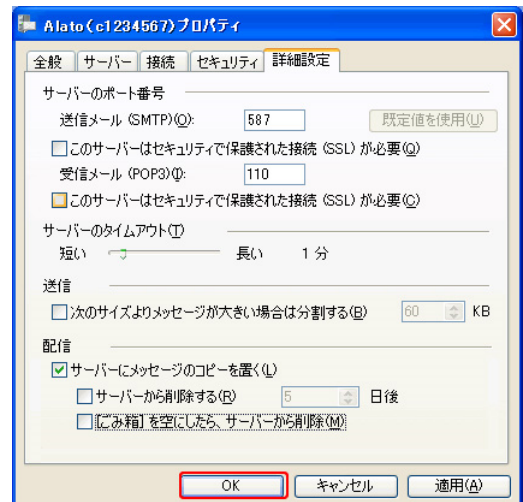
■送信メール (SMTP) : 587

※規定値「25」が入っている場合は消して入れなおしてください。

■このサーバーはセキュリティで保護された
接続 (SSL) が必要 : チェックなし

■受信メール (POP3) : 110 (規定値)

■このサーバーはセキュリティで保護された
接続 (SSL) が必要 : チェックなし



■サーバーのタイムアウト : 通常は設定変更の必要はありません。

※ダイヤルアップのような接続速度の遅い環境の場合、容量の大きいメールを受信する際やサーバーから応答がない場合にタイムアウトになる事があります。このような時はスライダーを右に動かす事でタイムアウトまでの時間を長くしてください。

■次のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する : 通常使用しません。

■サーバーにメッセージのコピーを置く

◎チェックを入れると、受信するメールをサーバーに残す事ができます。

※他のメールソフトでもメールを受信している場合や Web メールとメールソフトを併用する場合はチェックをつけます。(チェックをつけない場合、受信が完了したメールは、サーバーから消えてしまうため、他のメールソフトでの受信や Web メールでの閲覧できなくなります。)

■サーバーから削除する

サーバーにメッセージのコピーを置く日数を設定します。

◎この設定は任意で行います。

■「削除済みアイテム」を空にしたら、サーバーから削除

Windows Live メールで削除したメールをサーバーから削除するかチェックします。

◎この設定は任意で行います。

14. 設定を確認できましたら[OK] をクリックします。
15. [アカウント] の画面は、[閉じる] をクリックして閉じます。
以上で設定の確認は完了です。